

2007年 専門看護師新規認定者の状況

2007年に認定された専門看護師54名を対象に、資格取得前後の「職位の変化」、「活動範囲」、「資格取得前後の勤務条件・給与待遇の変化」、「所属施設での広告・広報の状況」等について認定登録手続きと同時に全員から情報を得ました（郵送回答期間：2007年11月1日～13日、回収率：100%）。資格取得後では、職位が上がったり、手当の支給や昇給などの労働環境や労働条件の改善が一部で見られました。活動の場の拡大も見られ、資格取得後には半数が施設内全体で活動を実施していました。以下に概要を紹介します。

1. 職位と処遇（図1.2）

資格取得前後の職位については、スタッフナースは54%から47%に減少し、職位があがる傾向が見られました。また、専門看護師専従ポジションの者が17%から20%に増加していました。

資格取得前後の勤務条件・給与の変化については、職位に伴う昇給がある者が4%、職位は変化しないが昇給する者が4%、専門看護師としての手当がつく者が15%でした。しかし、変化がないと回答した者が回答者の71%を占めました。

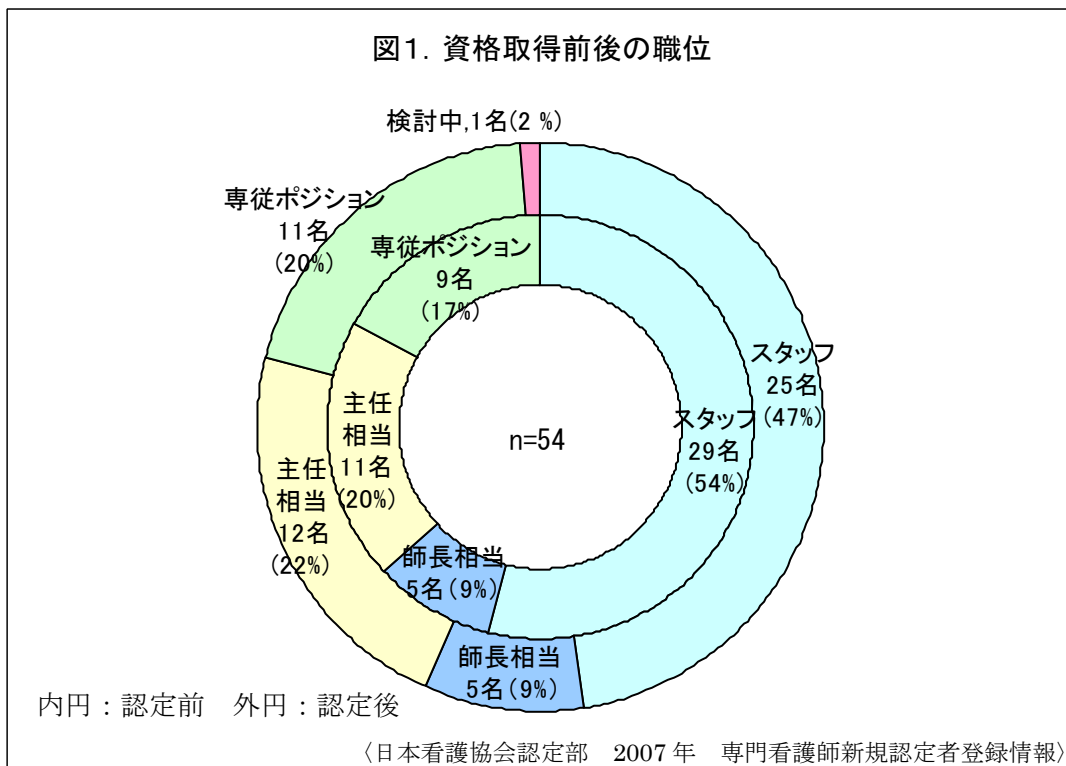
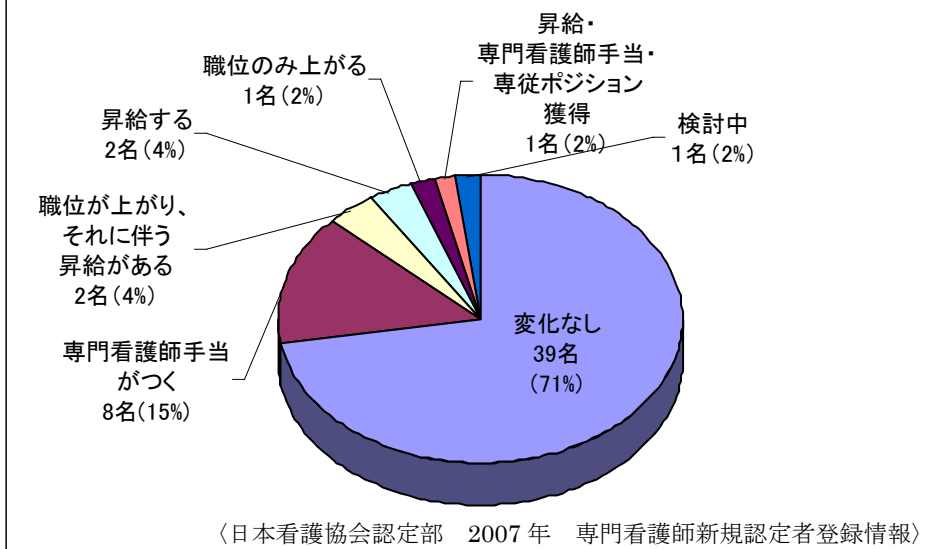


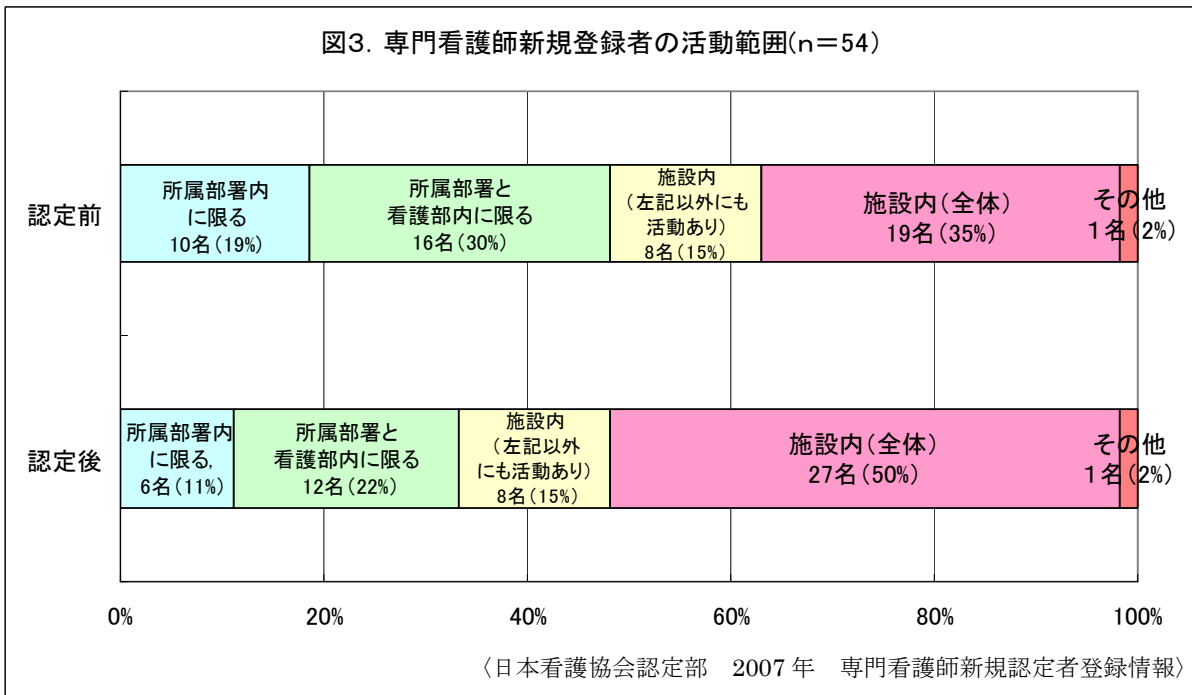
図2. 資格取得後の勤務条件・給与待遇の変化(n=54)



2. 活動範囲 (図3)

専門看護師認定前後の活動範囲について、施設内全体で活動する者が、認定前には35%でしたが、認定後には50%に増加しています。

図3. 専門看護師新規登録者の活動範囲(n=54)



3. 専門看護師資格の広告・広報について（図 4.5）

専門看護師資格の広告・広報活動の状況としては、所属施設の「ホームページ」への掲載は67%、「職員募集時のパンフレット」への掲載が33%におよび、多くの施設で専門看護師の活動内容などが紹介されていますが、施設によって広告・広報活動への活用状況は異なっている。

今後は2007年4月より広告が可能となった施設の看板や、電話帳広告等に専門看護師資格名称が積極的に利用されていくことが期待されます。

